

34 栽培管理支援システム(ザルビオ「xarvio」)の導入

○ザルビオフィールドマネージャーは、各圃場の土壌や作物の品種特性、気象情報、人工衛星からの画像等をAIが解析して、作物の生育や病害・雑草の発生を予測、最適な防除時期や収穫時期等を提案します。
○いつ、どのような作業が必要かを圃場ごとに把握できるため、効率的な栽培管理計画を作ることが可能です。

【ザルビオの主な機能】

1. AIによる栽培管理支援

- 生育予測により水管理や施肥等を管理
- 病害発生予測により防除タイミングを推奨
- 発生草種や栽培方法にあわせた雑草管理体系を提案(大豆)

【Z-GISとの連携】



2. 栽培管理に活用可能な情報を提供

- 気象情報(過去、予報) ...圃場毎の現在・過去の気象情報や10日間の予報データ、その日の1時間ごとの詳細な予報データなどが利用可能です。
- 植生マップ ...リアルタイムの衛星データ解析に基づき、NDVI(正規化植生指数)やLAI(葉面積指数)といった指標でマップ化されたものを確認・利用可能です。
- 土壌マップ

3. 栽培管理記録

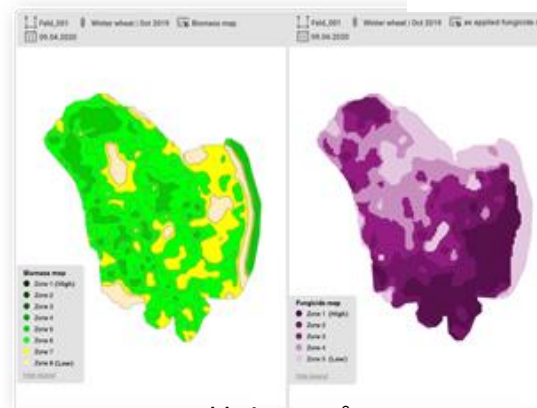
- 圃場ごとの栽培管理の記録
- 過去の作付け情報や管理記録内容を保存

4. 作業計画・指示

- 作付け計画、耕起、水管理、散布作業などを複数圃場へ一括入力
- 天候状況を確認しながらの計画作業・指示



〈ザルビオ
フィールドマネージャー紹介〉



植生マップ



〈アカウント作成〉



〈オンラインセミナー〉